

愛ラブ憲法 元気に笑顔で自分らしく

♥ おかげさまで

生い立ちに悩んだ少女時代。誰もが個人として尊敬され、豊かに生きる権利があると教えられた日本国憲法。この憲法の心をどう社会で実現させるかを考え、

18歳で日本共産党に入党。

こどもや保護者の願いにこたえて保育士として23年。初心忘れず・・・社会を変える先頭にと決意し日本共産党の市議に立候補。

議員として12年目をむかえました。周りの方々に支えられ、元気に自分らしく活動できることに感謝し、東奔西走しています。

(ブログ「たんぽぽだより」「私のあゆみ」をご覧ください)



保育所時代

♥ 忘れない

保育士時代に阪神淡路大震災。議員1期目にJR尼崎の脱線事故。3期目に東日本大震災と福島原発事故。大自然への畏怖、自然と人間など、様々なことを考え

させられました。

自然災害は避けられないが、人災は避けられる・・・この教訓を忘れずに、私に何が出来るかを胸に刻み、福島でのボランティア活動や尼崎の献花台への献花、原発再稼働反対のキンカン(金曜・関電前)行動を続けています。



被災地訪問

♥ みなさんとごいっしょに

毎月、5つの駅で配布している「たんぽぽだより」では、市議会と国の政治の動向を報告。畦野コープ前の定例宣伝では、折々の関心事の署名活動も行っています。

地域のみなさんと共に、コミュニティ役員として人権啓発推進委員長や地区福祉委員会に参加など、様々な活動をしています。

今を生きる大人の責任として、できることを精一杯がんばります。

そして、時には自分らしく心も体も解放して、走る、登る、歌うなどで、エネルギーチャージしています。



神戸マラソン

黒田みちのプロフィール

1958年5月9日生まれ、守口市立橋波小学校・第四中学校・大阪市立高校・キリスト教保育専門学院卒業、川西市立緑保育所などで保育士23年。市職員組合執行部、県自治労連保育部会事務局長など。

2002年川西市議初当選、3期目。日本共産党議員団幹事長。

広域ゴミ議会議長、農業委員など。現在、議会運営・厚生常任・新名神周辺対策特別・男女共同参画など各委員、北陵小学校区コミュニティ・人権啓発推進委員長、地区福祉委員会、新日本婦人の会。

趣味：料理・山登り・ミュージカル・ジョギング

住民の願い実現へ全力

「子育てなら川西で」をめざして

黒田みちの提案

- ☆ 中学校卒業までの医療費無料化
- ☆ 子育て環境の整備 (教室にクーラーを、保育所・中学校の建設、通園・通学費補助など)。中学校給食は検討委員会が実施の方向で「意見書」を教育委員会に提出
 - ☆ 原発再稼働許さず、福井の事故対策も
 - ☆ 保育所・学校・公園と給食食材の放射能測定
 - ☆ 給付型奨学金制度の復活
 - ☆ 国民健康保険税の引き下げ
- ☆ 特別養護老人ホームの建設
- ☆ 介護保険サービスの切り捨て許さず負担の軽減を
- ☆ ごみの戸別収集
- ☆ 地域のお店・企業の活性化につながる「リフォーム助成制度」を創設
- ☆ ブラック企業を規制する条例(公契約条例)の制定
- ☆ 地域交通の確立と交通費補助の拡充



くらし・労働・地域のなんでも

お気軽にご相談ください



黒田みち事務所

笹部1丁目13-25

☎ 795-4760

黒田携帯090-9987-7909

メールアドレス kuromamecha@ezweb.ne.jp

山下駅

東谷小学校

JA兵庫

すぐ動く！ 解決するまで ガンバル



日本共産党 市議会議員

黒田みち

ごあいさつ

「誰もが住んでよかったと実感できるまちづくり」へ全力投球。市民の願いをまっすぐ議会に届け、一歩ずつ前進させ、元気に活動しています。

国の政治の影響で、くらしにくさが増しています。こんな時代だからこそ市は、憲法の理念通り、市民を守る立場にたってがんばる、国に意見も言う。そして「子育てなら川西で」と評価されるような、若者・子育て施策を充実させる。そんな市政へと前進できるよう、全力で取り組みます。

温かいご支援・ご指導を心からお願い申し上げます。

川西民報 2014年 夏季号

黒田みち市議の活動報告と訴えを紹介します。
日本共産党 川西市委員会
川西市平野2丁目1-3 ☎ 792-2164

ブログたんぽぽだより 検索



活かせ憲法、子育て・くらし応援します



こども達が輝き、保護者の願いに応えるようにと保育士」としてで全力投球してきた黒田みち議員。市議会に送っていただいて12年、今も「一人ひとりが主人公」を軸足にがんばっています。

住民のみなさんの思いや願いを聴き、川西市の実態や近隣市町の状況調査をふまえ、粘り強く提案、要求しつづけています。

川西市は、近隣に比べてまだまだ「合計特殊出生率」の低い町です。安心して子育てできる町「川西」として取り組むことで、若い人たちが住み続けることができる町、移り住んで来てくれる町、世代継承できる元気な川西へと果敢に取り組んでいます。

中学校給食実現に向けて

小学校と同じように「食育」として、豊かでおいしい・安全・安心な給食実施を求めてきました。給食提供というだけでなく、「地産地消」と位置づけて市内農業での若者育成と雇用確保、環境保持、農地やため池・水路などを守る総合的なまちづくりの一環として提案。



この5月には、市の「中学校給食検討会議」から「実施にむけた意見書」が市教育委員会に提出されました。1日も早い実現を求めています。

こども医療費無料化を

12年前はこどもの医療費無料は所得制限付きの0才児だけで、近隣市町のなかで最低水準でした。

この間、「子育て施策」の一環として無料化の実現を求めるとともに、市民からの請願の採択に向けて取り組んできました。

現在、就学前まで入院・通院とも無料（0才児のみ所得制限なし）が実現、中学校卒業まで入院は無料に、通院は一部助成になっています。

どの子も中学校卒業まで入院・通院共に無料化を実現させましょう。



市内で初の病後児保育

待機児童がいるのに廃園された市立栄保育所。一旦廃止になったものの、市民のみなさんと共に「便利な跡地を子育て拠点にすべき」とねばり強く訴えてきた結果、この春から「保育園の分園と病後児保育」として新しくスタートしました。

中学校建設と交通費補助を

東谷小・中学校と清和台中学校で電車やバスで通学しているこども達がいいます。まずは義務教育期の児童・生徒への通学費を補助し、1年でも早く中学校予定地への建設の具体化を求め続けています。

小学校区に保育所など子育て施設がない地域があります。市内どこでも安心して子育てできるように「地域間格差の是正」を提案しています。

地域医療の拠点としての「市立川西病院」を

独立行政法人化でなく公的医療機関として明確に位置づけ、医師確保をすべきと求めてきました。

今春、医師の増員、心臓カテーテルや緩和ケア、血液外来など、診療科の拡大もすすみました。病院までの交通網の確立とともに、北部の拠点病院として堅持、老朽化などへの対策を求めています。

他にも市民のみなさんと共に実現しました（^_^）

- ♥ 学校施設耐震化・トイレ洋式化
- ♥ ピワクチン・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン接種無料化
- ♥ 高齢者肺炎球菌ワクチン補助
- ♥ 子ども若者相談窓口
- ♥ 人間ドック補助拡大
- ♥ ケースワーカー増員
- ♥ 市議会だよりなど情報公開
- ♥ 障がい者・児の専門家増員
- ♥ 妊婦歯周病検診
- ♥ 国保税引き上げ抑制
- ♥ 加茂遺跡の保存
- ♥ 保育所建設 など



ブラック企業根絶にむけて

市が発注する工事・清掃などの業務委託先で費用の適正化や労働者の雇用条件が違法・不当になっていないか、実態を明らかにしながら追求してきました。

市は委託先に賃金・残業・社会保険加入などアンケートを実施して改善させることも。

引き続き「公契約条例」の制定にむけて取り組んでいます。



川西がよく見える」

川西市のことをもっと市民のみなさんに伝えることができるように提案し続けた結果、協働と参画の条例ができ、市のホームページで予算や審議会などの情報公開やパブリックコメントが進んでいます。

議会映像の配信、広報紙の冊子化、議員の議案・請願への賛否や一般質問の氏名記載など「よく見える」ようになりました。

市民のみなさんにもっと市政への興味・関心を持っていただけるよう努めます。

消費税増税、社会保障の破壊、集団的自衛権、原発推進、

私たちの生活は川西市の行政だけでなく、国や県の政治と密接に関係しています。だから地方自治体が国の政治のあり方にどうい姿勢で臨むかが大事。ところが、それを議会で発言すると、「それは国の仕事」と国にモノ言うことをシャットアウトしてしまう。それでは市民の命や暮らしが守れません」

国の危険な暴走にも言う議員でありたい

黒田議員が日頃から指摘するように、秘密保護法撤廃や消費税増税中止を国に求める意見書・請願には日本共産党以外のほとんどの議会会派は反対。これでは地方から国の悪政を支えることになります。

「医療・介護難民」や「生涯派遣」労働者をつくる動き、「解釈」によって憲法9条を骨抜きにする動きなど、国の危険な暴走に「ストップ」を発信できる川西市にしていかなければなりません。

今こそ、国の政治も地方の政治も「国民主権」「基本的人権」「恒久平和」を柱とする「憲法が輝き活かされる」よう、手をたずさえてがんばりましょう。

日本共産党東谷後援会会長

弁護士 松岡 正章

「戦争する国」づくりに向けて、暴走」を続ける安倍政権。これに地方からストップをかける意義をもつ市議員選挙が十月に迫っています。四名の議員団を築いて市民本位の市政へと前進させましょう。

その「旗手」として最もふさわしい人、黒田みちさんを四たび市議会に送りましょう。「任んでよかったです」と思える川西市」とするために。

主婦 木田 泰子（笹部）

笹部に引越してこられてから約三十年のお付き合い。明るく元気で何事にも一生懸命、すばらしい方です。

市会議員のホープ、まだまだ市議としてがんばってもらわないと川西市の損失です。黒田さん、がんばれ！

兵庫自治労連特別執行委員

元川西市職労書記長 今西 清（山下）

介護保険改悪、病院の入院期間短縮、国民健康保険の県移管、保育子育て新制度など、川西でも国の悪政とのたたかいが求められる時。そんな時だからこそ、明るくて元気一杯、とことん頑張る黒田さんに期待します。

黒田みちさんに期待します

クリスチャン

田中 廉（大和）

イエス・キリストのまなざしは権力者や金持ちではなく、常に貧しい人、病める人、悲しむ人などの弱者に向けられていました。

共産党も常に社会的弱者の立場にたって活動していることに共感を覚えます。黒田みちさんは市政についてもよく勉強し、弱者には親身になって問題の解決に努力されて、イエスのまなざしに通じる優しさがあります

保育士

穂積 富美子（大和）

川西市は子ども達が安心して過ごせる認可保育所が中央部以外は少なく、待機児童が急増しています。一時預かりの保育ができる施設も限られています。

黒田さんは3期12年、市民の目線に立ち奮闘されてきた実績があります。今後とも実行力のある黒田さんに期待します。

元教員

野原 厚子（大和）

教育が「戦争する国」づくりに利用された反省から、国や首長から独立した教育委員会ができました。安倍首相はその教育委員会を、国首長が直接支配できるように変えようとしています。

教育は、子どもの成長を第一に考え、政治から独立しておこなわれるべきです。そんな教育を守るためにも黒田さんがんばっていただきたい。